

平成26年度 第4回景観審議会 発言要旨

会長	<p>選考する上で難しいのは、対象になっている候補のうち、実際に見ることができたものと映像でしか見られなかったものを同列に評価しなければならないということである。評価する資料としてはバランスを欠いている部分があるが、その点も踏まえた上で、できるだけ公正な選考をしたい。</p> <p>景観賞を4点以内、奨励賞を4点以内ということで、まず景観賞4点以内を決めて、その次に奨励賞を決めるということでのいいか。(一同了承)</p> <p>それでは景観賞を選ぶ作業に入りたい。</p> <p>まずは一人ずつ意見を言っていただき、最終的には委員全員の協議の上で決めていきたい。特に、現地は見られなかったけれども候補に挙げていいのではないかというものがあれば積極的に挙げてほしい。</p>
委員	<p>評価集計表を見ると、皆さん妥当なところで評価していると思うし、私も同じような評価であった。</p> <p>評価する上で、景観そのものの他、公共性だとか、個人や地域の人の思いが、どのくらいウエイトを占めるのかなと思うが、私はある程度公共性があることが大事だと思う。それから、建築としての技術的なことは分からないが、高い保存価値があるということも評価しなければならないという気持ちがある。</p>
委員	<p>景観賞については、CoCoDeは評価点にも皆さんが押しているのが表れているし、相対的に秀でていたという感じがした。旧岡田邸についても貢献度が落ちる程度で皆さん高く評価しているので、この2つは妥当だと思う。</p> <p>現地審査していないところで、田んぼアートを奨励賞の候補に挙げたいと思う。調べると、本州でも田んぼアートをやっていて、知名度が高い。それを旭川でやっているということはあまり知られていないので、広く知って欲しいということから奨励賞にしたいと思う。</p> <p>逆に文化芸術ゾーン(7条緑道)は、評価点は高いし、行政も尽力していると思うが、市民からは何があるのか伝わっていないということがあるので、授賞には疑問がある。</p> <p>他は、春光台公園水芭蕉群生地も、道内では有数の群生地であることが一般にはほとんど知られていないので、奨励賞として取り上げてはどうか。</p>
委員	<p>現地を見に行った感想として、候補には建物単体のものが多かったが、景観として見るにはある程度のボリュームが無いと評価しづらい。例えば、常盤商店は単体で見るとなかなか面白いけれど、それが景観となるとちょっとインパクトが弱い気がする。そういう点では、CoCoDeは周りの雰囲気も景観として良いものである。旧岡田邸は、私も結構評価している。和洋折衷の感じが良い。</p> <p>旭川駅は、今回の審査ではあまり北側の正面から見られなかったが、夜に行くとホームの柱が見えてなかなか良い雰囲気である。</p>

あと1点は、取組みで何か選べれば良いと思うが、神楽岡公園など、公共の管理者として当然やるべきことできれいだというのは趣旨が違うと思う。例えばMS会とか聖和小学校の子どもたちがシンボリックに維持しているという地道な取組みが良いと思う。

会長 ものとしての質の高さもあるが、それに市民がどう取り組んでいるかという視点も、十分考慮すべき観点だと思う。

委員 集計表を見て、第1次選考の段階で票が多く入った CoCoDe とか旧岡田邸は総合的に皆さんの思いが一致していると思った。常盤商店は、第1次選考で票が入っている割には第2次選考の評価点が高くなかったのは、景観として捉えたときに評価が難しいということだと思う。

今の段階では景観賞は点数の上位4点に絞られると思う。奨励賞は、実際に見ると評価は低いけど、今後期待したいものにあげるのか。現地審査していないところは、写真ではいいと思うけれど、実際に見たらそうでもないということがあり得るので難しい。

会長 やはり実際見ていないところは不利な点がある。でも「奨励」という言葉には今後期待するという意味もあるから、今はまだ成果が目に見えて表れていなくても、今後発展してほしいというものがあれば、それに授賞するということはある。

委員 高得点のものは皆さんの考えが類似していたのだろうと思う。私がこの評価項目の中で重視したいと思ったのは、取組みという点である。建物の所有者や町内の方が、保存・維持するためにどれくらい取り組んでいるかということは、普段知ることができないからだ。

後は、今後も続けていくともっと良くなるのではないかとこのものも評価したい。田んぼアートでは、田植えに修学旅行生の体験学習を受け入れている。それはとても良いことだと思うし、奨励賞を授賞すれば、それが励みになってより良い方向に行くのではないと思う。

また、文化芸術ゾーン（7条緑道）も彫刻が再配置されて昼間も明るい通りになったが、これから将来に向けて市民が楽しめる通りになってほしいし、ふらりーとも社会人が立ち寄れる場所として昔の面影を残してやっているということなので、奨励賞がいいのでは。

委員 景観賞というどうしても建物を対象としたもので、古いものを保存してあるのが景観賞という思いが強かったが、今回、候補としていろいろな活動が出てきて、どこに焦点をあてて見て良いのか悩むところだった。ただ見て「いいな」というものもあるし、見た目では分からないが一生懸命やっている素晴らしい活動かもしれないものもあるので、何を基準に評価するかが難しいと思っ

た。

7条緑道には、芸術家の方がそれだけを見に来るような彫刻作品がたくさんあると聞いた。そういうことを奨励賞という形で発信すると、市民の方にも知ってもらえるのではないか。また、緑道から外れたところにもたくさん彫刻があるらしいので、その辺りも繋げて7条緑道が未来の旭川のひとつの見所になればいいのではないかと感じた。

北彩都ガーデンは、第1次選考も第2次選考も点数が入っているが、庭というものは5年10年経たないと「良い・悪い」の結果が出ないものだ。植物は成長するものだし管理も大変なので、将来どうなるのかが見えないところもある。北彩都ガーデンについては、この次の景観賞で評価してもいいのでは。

会長 確かに北彩都ガーデンについては、まだ全体が完成していないという事情がある。

委員 委員の皆さんの意見には基本的に賛成だし、ノミネートされている対象についてはそれぞれに良いところがあると思う。評価点が上位の何件かについては、点数が委員の総意を表していると受け取ってもいいと思う。CoCoDeと旧岡田邸が評価できるということは、同感である。

私が前提として考えるのが、これは旭川市の景観賞であるということ。つまり市が表彰する、優れたものだということであるが、その中で市が自らやっているものを市が自ら表彰するのはちょっとやりづらい点があるのではないかとと思う。今挙がっている中ではCoCoDeがそれに該当するが、これについてはそういったことを考慮しても秀でて大事な要素があると思うし、今現在、市民活動が展開される重要な場所になりつつあるということで、そういった懸念を払拭することができると思う。

そして、景観とは「活動」なのか「もの」なのかといったときに、「もの」がないところで活動に賞を与えるということは難しいのではないか。その中で、単体と景観というのはまた違いがあるだろうという指摘にも応えていくべきだと思う。

例えば、自然が優れているということの評価については、別の機会があるのではないか。春光台の水芭蕉群生地は大変素晴らしいものではあるが、その自然を保つ素晴らしさは、景観賞でない部分で奨励されるべきではないかと考える。つまり、市の景観賞で、全てを網羅した観点で評価するのは難しいのではないだろうか。

同時に、保存することと新しくつくることの両方の考えが必要だと思う。ともすると保全運動だけが良くて、新しくつくるものは良くないとなるのは違うと考える。

旭川駅は私個人としては優れたものだと思っているが、同時にイオンモールという大型商業施設がついてきたので、今すぐ評価できるかどうかといったときに難しいものも感じているのだが、旭川市に与える、大きな建造物としての

意味はあるのではないか。

古いものに関しては、ふらりーとなり常盤商店なりの歴史の跡を残しているものに対して評価することも必要かと思う。

会長

総論的な話になるが、景観賞の対象とは単に美しい景色ということにくるべきではないと思っている。新しい景観をつくるという意味でも、古いものを保全・維持して現代の暮らしに組み込むという意味でも、どこかに人が関わっているものだろうと思う。そういう意味では、「もの」と「活動」が上手に合わさって、互いに相乗効果で高め合うということだ。先ほど委員から意見があったように、全く「もの」がなくて活動だけというのでは景観賞としてはなじみにくい。なにか核となるものがあるって、それを中心として人々の営みが展開されるということが景観賞として評価する上で最もふさわしいと思っている。

この集計表では、点数化されていないものや現地に行った回数などにばらつきがあり、公平に見るのは難しいが、例えば第2次選考の2回の点数を合計し、1度しか行っていないものは単純に点数を倍にして比べたときに、CoCoDeと旧岡田邸が上位2点になる。これは、皆さんが評価したものが得点上にも表れているということではないか。現地審査していないものを見落とさない配慮が必要ではありながらも、単純に評価点で見たときに上位になるCoCoDe、旧岡田邸、旭川駅、ふらりーと、北彩都ガーデンあたりは良いのではないかと思う。

委員

7条緑道は、もし奨励賞などにするのであれば、設置されている彫刻だとかを市民の方に知らせる工夫が欲しい。

会長

このような賞を設ける意図としては、賞を通じて市民に美しい景観だとか美しいまちづくりだとかを広く知ってほしいという意義が大きい訳だから、景観賞に決まった後は、その周知の仕方などは大事なことであると思う。

委員

7条緑道に置かれている彫刻は加藤顕清の作品群で、野外に多く設置されていたものを再配置したものである。

7条緑道は、常磐公園との関わりから文化芸術ゾーンという名前をつけて、街の中から常磐公園までの誘導路として見直しを図りたいということで整備されていると聞いている。

会長

7条緑道はかなりうっそうと茂っていた木を剪定したことに、いろいろな評価があるようだが、私はすっきりしてよかったと思う。今、7条緑道近辺では若い人がカフェを開いたり、あそこを拠点として文化や生活の賑わいをつくり出そうという動きが少しずつ出てきている。そういう意味で、奨励する対象にはなるのかという気がする。

さて、ここで景観賞を選考したい。

今、皆さんのお話を伺っていて、多くの方が景観賞として評価できると言っ

	た CoCoDe と旧岡田邸の 2 点については景観賞に該当するという事によろしいか。
一同	賛成
会長	では CoCoDe と旧岡田邸に関しては、景観賞に選考する。 景観賞にはあと 2 点選考できるが、現地審査で評価が高かった旭川駅や北彩都ガーデン、ふらりーとあたりはどうか。
委員	4 点必ず選ぶということか。
会長	4 点以内であれば、3 点でもかまわない。
委員	そうであれば、旭川駅は将来もう少し先を見ることにしてもいいのでは。今はまだ作ったばかりなので、これからどうなっていくかを見たほうがいい。
委員	私は、今はまだ評価が難しいところがあるけれども、新しい景観をつくるものとしては評価したいという意見だ。
委員	似たような外観の駅はよくある。
会長	駅を設計した内藤廣氏は高知駅や日向市駅なども設計しているが、これは両方とも木で造った駅である。実は旭川駅のホーム階でも最初は木を使うという案もあったが、いろいろな事情で鉄骨になった。でも 1 階のコンコースなどはふんだんに木材を使っている。あれは全て道産のタモ材で、あれだけの量を集めるというのは大変な努力だ。 駅と北彩都ガーデンは別の項目で候補に上がっているが、駅、特に夏場の駅南広場からみる駅舎とガーデン、あるいは川との景観は、他にはない景観だと思っている。設計者は「川のある駅」という言い方をされていて、川辺に非常に近い駅舎ということに独特な味わいがあると言っている。本当は駅南広場あるいは駅北広場と駅、という外部と建築との総体を景観として評価すべきだと思うが、今回は別々に応募がきているから分けて評価せざるを得ない。建築単体で評価すると、この旭川駅と六花亭は新しい建築としては卓越していると思う。
委員	田んぼアートは J A が主体なのか。
事務局	J A たいせつの青年部の方が中心に行っている。
会長	何年続けているのか。

委員	平成18年からなので8年だ。
委員	島田音楽堂はどうか。
委員	建物の中身に感動したというのが大きいのではないか。外観は景観としてはどこにでもあると思う。
委員	外観と中身のミスマッチはいいが、外観だけ単体で景観としてみたら評価しづらいという気がする。
会長	次の景観賞がいつになるかは分からないが、点数が高いものの中で、北彩都ガーデンはもう少し様子を見るということでもいいだろうか。
事務局	次回の景観賞をいつ開催するかは未定である。しかし、ある程度「もの」ができての賞だと思うので、毎年ということにはならない。ある程度時間が必要だと思う。
会長	そうするとガーデンは全体の完成を待って、成り行きをもう少し見守る必要があるだろう。そうすると旭川駅を3点目の景観賞とするか。旭川駅は駅前広場だとかも含めた評価になると思うが、旭川の都市に新しい景観を生んだという意味で無視できないと思う。
委員	使い勝手の評価は入らないのか。建物としては素晴らしいと思うが。
委員	旭川駅は、冬期の現地審査の点数をみると夏期の点数に比べて5分の3位に減っている。ということは、景観自体は年間通していい評価が出来る訳ではないという捉え方もできる。総合評価でいえば景観賞に該当するのかもしれないが、建物内の利便性等も含めるとさらに点数は下がると思う。
会長	私個人の意見を言うと、近頃では珍しい名建築だと思っている。
委員	ホームのガラスを通して向こうをみると山が見えるとか、そういう建物の意図を知らない人が多いのかもしれない。
委員	旭川駅は外から見る景観もあるが、西改札口を出ると買物公園がずっと繋がって見えて、中から外を見たときの景観も良いものがある。南側の樹木も中から見ると結構良い。確かに利用するときは広くて疲れるというのはあるが、景観という面でいうと割と面白いと思う。冬期の現地審査で点数が下がったのは、イオンモールの仮囲いが外れてまだじっくりいっていないということもあるの

委員	<p>ではないか。単体として見ると良いと思う。景観賞にふさわしいと思う。</p> <p>ガーデンが完成して、夏に観たら皆さん感動すると思う。冬は真っ白だから良さを感ぜないのかもしれない。</p>
会長	<p>夜の景観もなかなか良いと思う。ホームのライトアップもそうだし、ガラス越しに中の木の板が暖かく見えるというのは、北国の駅としてはとてもいいと思う。</p> <p>特に御意見がなければ、北彩都ガーデンそのものはもう少し時間の経過を待つということにして、今回は、ガーデンを駅南広場の要素の一つに含めて、旭川駅を景観賞にするということでのよろしいか。(一同同意)</p> <p>それではあともう一つ選ぶことができるが、どうだろうか。</p>
委員	<p>景観賞は3点でいいのでは。六花亭やふらりーとは点数的には良いが、私は奨励賞の部類かなと思う。無理して4点選ばなくてもいいのではないかな。</p>
会長	<p>それでは、ひとまずこの3点を景観賞として、奨励賞の選考に移る。奨励賞を選考する中でやはり景観賞にしたいというものがあれば改めて選考ということでのよろしいか。(一同同意)</p> <p>では、奨励賞としたいものを随時挙げてほしい。</p>
委員	<p>文化芸術ゾーン(7条緑道)は、先ほどいろいろな意見があったが、これからみんなに知ってもらって見に来てほしいという意味では奨励賞に値すると思う。</p> <p>田んぼアートはスライド等で見た限りでは魅力あるアート作品だと思うし、評価点でいえばふらりーとあたりが入ってくる。</p>
委員	<p>春光台の水芭蕉群生地は、保存して徐々に拡大されてきているということは非常に努力をされているのではないかと想像する。</p>
委員	<p>水芭蕉の活動は良いと思うが、実際にものを見ていないので何とも言えない。個人的にはまずふらりーとを挙げたい。きれいな景観だけではなく猥雑な雰囲気も維持して保っているのが面白いと思う。後は聖和小学校の木。たかが木一本だが、それをシンボルツリーとして維持することで、子供たちの思い出とか、この木をみると昔の風景が蘇るとか、景観教育みたいなものを考えたときに奨励賞でもいいのではないかなという気がする。</p> <p>田んぼアートは農村景観としてどう評価するのか。取組みとしては面白いが景観賞という観点からこれを評価するというのはどういうスタンスになるか分からない。</p>
委員	<p>西倉倉庫群はどうか。</p>

会長	倉庫は以前にも奨励賞になっている。だから、再度、奨励賞ということはない。
事務局	過去の奨励賞授賞作については、時間の経過と共に更に良くなった場合、景観賞の可能性があるので募集対象としていた。
委員	私は六花亭を考えていた。まち並み景観，都市景観というのをこれからどのようにつくっていくかと考えたときに，保全ばかりになっていくと少し困るという気持ちもあるのと，できれば民間のものを挙げていきたいという気持ちがある。
会長	今，候補が6つ出ている。他になればこの6つの中から絞り込んでよろしいか。
委員	水芭蕉群生地が良いのは分かるが，同じようなものでカタクリの保全なども民間で取り組んでいるし，神楽岡では桜の植樹なんかもやっている。自然を守ろうという気持ちとしては同様の取組みなので，ここで水芭蕉だけ表彰することに少し戸惑いがある。 7条緑道は行政で行っているから，もう少し時間をおいたほうが完成したものを評価できると思う。
会長	先ほど意見があった，田んぼアートが景観としてどうかという疑問には同感する。取組みとしては分かるが，景観なのかというとターゲットがずれているような気がする。 それから，ふらりーとのような，都市のハレとケでいえばケの部分，猥雑な雑然としたものもある意味評価してもいいという気がしている。 六花亭は建築としては大変優れている。景観賞でも良いくらいだと思っている。 皆さんそれぞれの評価があるだろうから，投票をして，票の多いものから4つということで機械的に決めるしかないのでは。皆さんの思いを率直に投票していただいて，できれば4点選びたいがどうか。(一同同意)
委員	景観賞を3点としたが，古いもの2点と新しいもの1点なので，もう一点新しいものとして六花亭をいれてはどうか。
会長	六花亭を景観賞に入れたらどうかということについて意見はあるか。
委員	投票の結果を見て決めてはどうか。

- 会長 では、六花亭を景観賞にしたい方は用紙の上段に名称を記入することとし、用紙の下段には六花亭を含めて、奨励賞を4点まで書いていただくことにする。過半数が六花亭を景観賞にしたいということであれば、景観賞にするということによいか。(一同同意)
- 委員 六花亭は建築として評価できるということか。
- 会長 私はそう思う。それに加えて建物周辺の植栽だとか駐車場にあえて大きな木を植えているということも私は評価している。
- (投票) ・六花亭を景観賞にすることについて：3票
【奨励賞】
・ふらりーと 7票 ・文化芸術ゾーン 6票 ・六花亭 4票
・水芭蕉群生地 3票 ・聖和小学校 2票 ・田んぼアート 1票
- 会長 投票の結果、六花亭は景観賞から外れることとする。
奨励賞は、ふらりーと、文化芸術ゾーン、六花亭、春光台公園水芭蕉群生地が上位4点ということになる。従って、奨励賞にはこの4点でいいか。
- 委員 水芭蕉群生地は票が過半数入っていない。
- 会長 過半数というのは六花亭を景観賞にする投票に関しての取り決めである。
- 委員 しかし過半数の委員が奨励していないのに奨励賞というのはおかしい。
- 会長 それでは水芭蕉群生地を除く3点を奨励賞ということによいか。
- 委員 奨励賞はできれば4点あったほうがいいと思う。今選ばれなかった3点で再投票して、もう1点賞を出したほうがいい。
- 委員 今の投票で過半数を得なかったもので決選投票をしてはどうか。
- 会長 それでは残った3点で投票して、そのどれかが過半数を得たら、4点目の奨励賞とすることによろしいか。
- 委員 残った3点は人の活動がメインになっているという点で同じような感じなので優劣が付けがたい。「もの」と「活動」が関わりあって景観をつくっているという観点から考えると、残った3点はやや違っている部分があると考えた方もいると思う。今回の投票ではどれも選ばない、という選択もありか。

会長	それでは、どれも選ばないという選択もありということで、再度投票し、過半数以上票を集めたものを奨励賞とする。
(投票)	・水芭蕉群生地 3 票 ・聖和小学校 2 票 ・田んぼアート 0 票
会長	<p>結論として、景観賞は CoCoDe, 旧岡田邸, 旭川駅の 3 点, 奨励賞はふらりと, 文化芸術ゾーン (7 条緑道), 六花亭の 3 点を選考する。</p> <p>ちなみに景観賞は古い建物 2 点と新しい建物 1 点だが, CoCoDe は昔の国鉄の工場 2 棟を新しい建物で繋いでおり, 新しい要素がない訳ではない。また, 建物内部をかなり改造しており, 現代的な技術も導入している。そういう意味で新しいものと古いものがミックスされたところがあり, バランスが取れていないわけではない。</p> <p>以上, 景観賞 3 点, 奨励賞 3 点を結論としたい。</p>

以上